

【徳島県農林水産基本計画レポート（要約版）】

I 豊かで充実した食料の提供【食料政策】

◇ 食料供給機能の強化 ➡ 安全で安心な「食料」の安定供給

<ねらい>

県民の皆様に「食料」を安定的に供給し、将来にわたり不安なく食料を確保するため、水田等の有効活用による「食料供給機能」の強化により、安全・安心な食料の安定供給を図る。併せて、県民の健全で安定的な食生活を維持・確保するため、食育・地産地消等の施策を講じる。

【施策の取組状況】

事業名等	内 容	
1 活力ある多様な水田農業の推進	農業者戸別所得補償制度を最大限活用して、水田の有効活用や自給力の向上を図るため、新規需要米、園芸作物の作付拡大を推進した。	
2 食の安全・安心の確保	県産農林水産物に対する消費者等の信頼に応えるため、安 ² GAP 農産物認証制度の推進と県産農畜水産物の放射能検査を実施し、「食の安全・安心」を推進した。	
3 県民の健全な食生活の実現	「食育」を総合的に推進するとともに、県産農畜水産物の活用等による「地産地消」の取組みを促進した。	

【基本計画の達成状況】

	H20		H24.8	目標値(H24)
○とくしま安 ² GAP 認証件数	50 件	→	139 件	100 件
○地産地消協力店数	192 店	→	250 店	270 店

II 農林水産業の振興【産業政策】

◇ ひろがるとくしまブランド戦略の展開 ➡ 「生鮮食料供給地」として更なる発展

<ねらい>

本県農林水産業を大きく飛躍させるため、「安全・安心」に裏付けられた農林水産物の供給力の向上を図るとともに、「新鮮 なっ!とくしま」号の展開、「とくしまフェア」の開催をはじめ、「県産食材」を活用する料理店や食の専門家との連携など、認知度を高める「とくしまならでは」のアピールにより、「とくしまブランド」の確立を推進する。

【施策の取組状況】

事業名等	内 容	
1 走る「とくしまブランド」展開事業	県産農林水産物の消費拡大を図るため、大消費地である東京・大阪における「トップセールス」の開催、「新鮮 なっ!とくしま」号や「とくしまブランド協力店」の情報発信力の強化を図るとともに、「美味しいよ!とくしまブランド店」の登録拡大などにより、消費者に積極的にPRした。	
2 阿波尾鶏の増産対策	省エネ・生産性向上等技術の導入や担い手対策を考慮した鶏舎等関連施設整備を支援した。	
3 「徳島の活鰐」飛躍事業	県産ハモの認知度向上、消費拡大を図るため、「徳島の活鰐料理味わいキャンペーン」を強化するとともに、「日本三大はも祭」等でPRを行った。	

【基本計画の達成状況】

	H20		H24.8	目標値(H24)
○とくしまブランド協力店数	21 店舗	→	32 店舗	35 店舗
○農林水産物ブランド品目育成数	12 品目	→	30 品目	38 品目
○とくしま特選ブランド創出数（累計）	0 品目	→	19 品目	10 品目

◇ 次世代林業プロジェクトの展開 ➡ 生産から加工・消費まで一体となった取組み

<ねらい>

これまでの「林業再生プロジェクト」や「林業飛躍プロジェクト」により培った成果や、主伐が可能ならまでに充実してきた森林資源を背景に、10年後の県産材の生産・消費量を、20万立方から40万立方メートルへと倍増を目指す「次世代林業プロジェクト」を展開する。

【施策の取組状況】



事業名等	内 容
1 次世代林業を担うプロフェッショナル養成事業	担い手の確保と養成を図るため、新規就業者、参入希望者等に対し、資格の修得と段階的な技術向上を図る体系的な研修を実施した。
2 森林整備加速化・林業飛躍事業	間伐などの森林整備や路網、林業機械の整備を推進するとともに、県産材の加工の効率化や規模拡大をはじめ、製品の品質や付加価値の向上、流通の合理化などを行うため、必要な加工・流通施設の導入を図った。
3 先駆的木造公共施設整備事業	市町村等が実施する県産木材を利用した展示効果やシンボル性が高い公共施設の整備に対して支援した。

【基本計画の達成状況】

	H20	H24.8	目標値(H24)
○「林業プロフェッショナル」育成者数	104人	→ 170人	170人
○県産材の生産量	20万m³(H19)	→ 24万m³(H23末)	26万m³
○県産材自給率	31%(H19)	→ 49%(H23末)	49%

Ⅲ 農山漁村の活性化【地域政策】 Ⅳ 県民の参画・協働【協働政策】

◇ 中山間地域等への支援 ➡ 潤いと安らぎのある「農山漁村」の創造

<ねらい>

中山間地域が県土の8割以上を占め、全国より高い中山間比率となっている本県の農山漁村において、美しい自然環境や、豊富な地域資源を活かし、人・もの・情報が循環する「魅力あふれる農山漁村づくり」を進める。

【施策の取組状況】

事業名等	内 容
1 魅力あふれる農山漁村づくりの推進	農業の生産条件が不利な中山間地域等において、農業生産基盤、農村生活環境基盤等の整備を行うとともに、耕作放棄地の発生を防止し、多面的な機能を保全する集落の取組を支援した。
2 野生鳥獣被害防止対策の推進	被害実態調査や鳥獣被害防止指導員の養成などを実施するとともに、市町村被害防止計画の策定支援を行った。
3 協働による潤いと安らぎのある農山漁村の保全	多面的機能を持つ農山村地域の保全・活性化を進めるため、多様な県民の参画を促し、「協働」の対象や内容を拡大した。

【基本計画の達成状況】

	H20	H24.8	目標値(H24)
○中山間地域総合整備事業の実施地区数	31地区	→ 35地区	33地区
○市町村被害防止計画の策定	12市町村	→ 20市町村	21市町村
○農山漁村（ふるさと）協働パートナーの協定数	8協定(H22)	→ 29協定	14協定

